

# 奈良県感染症情報

平成 28 年 第 52 週( 12 月 26 日～ 1 月 1 日)  
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## インフルエンザの流行が始まっています

### 今週の概要

- 小児科外来情報

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

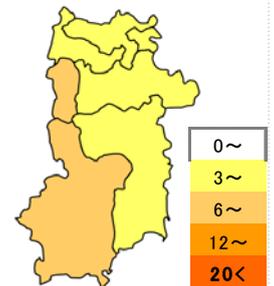
順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.09	(10.94)	↓	↓	↓	↓
2	インフルエンザ	4.00	(7.11)	↗	↗	→	↑
3	RS ウイルス感染症	1.15	(1.59)	↘	↓	→	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	1.09	(1.32)	↘	↘	↘	↓
5	流行性耳下腺炎	1.03	(1.62)	↘	↓	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

### ◆ 県内概況 ◆

- 第 52 週は年末年始でお休みの医療機関もあり、患者報告数は減少しています。インフルエンザは流行が始まっており、今後増加するとみられます。5～14 歳の報告が多い状況です。これまでの検査では、AH3 (香港型) の検出が多く、次に AH1pdm09 (2009 年流行型) を検出しています。A 型は流行が始まると急激に患者数が増加します。「咳エチケット」を心がけ、外出後の手洗い等を励行するなど、感染予防対策が必要です。
- ✓ 咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて 1m 以上離れましょう。
  - ✓ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
  - ✓ 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。

感染性胃腸炎報告状況



### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

一旦増加してきていたインフルエンザは、学校や幼稚園の正月休みで、減少し中学生以上の成人にみられるだけとなっています。感染性胃腸炎も同様の傾向です。小学生で流行性耳下腺炎と保育園児で夏風邪の手足口病がよくみられます。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは年末から僅かずつ増加程度のまま大きな流行に至らず。流行性耳下腺炎が持続。感染性胃腸炎は嘔吐のノロ様が持続。

マイコプラズマ様咳嗽の例がやや多い。新年あけて A 群溶連菌感染症があった。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染性胃腸炎の流行は続いている。保育所、学校は休みに入ったが家庭での感染が広がっている。インフルエンザは一旦流行が落ち着いた様子あり。

RS ウイルス感染症は依然多く、入院例も多い。また、炎症反応亢進例は抗生剤を併用しないと症状の遷延がみられる。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 52 週 12 月 26 日 ~ 1 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ	216 (4.00)	30 (2.14)	66 (4.71)	59 (5.36)	30 (3.00)	13 (6.50)	18 (6.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	39 (1.15)	5 (0.56)	3 (0.33)	15 (2.14)	13 (2.17)		3 (1.50)	
咽頭結膜熱	23 (0.68)	7 (0.78)	11 (1.22)	1 (0.14)	4 (0.67)			
A群溶連菌咽頭炎	37 (1.09)	1 (0.11)	8 (0.89)	1 (0.14)	26 (4.33)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	207 (6.09)	46 (5.11)	51 (5.67)	35 (5.00)	55 (9.17)	11 (11.00)	9 (4.50)	
水痘	11 (0.32)	4 (0.44)	3 (0.33)	2 (0.29)	2 (0.33)			
手足口病	14 (0.41)	4 (0.44)			10 (1.67)			
伝染性紅斑	3 (0.09)		2 (0.22)	1 (0.14)				
突発性発しん	10 (0.29)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	4 (0.67)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	3 (0.09)			1 (0.14)	2 (0.33)			
流行性耳下腺炎	35 (1.03)	6 (0.67)	9 (1.00)	12 (1.71)	7 (1.17)		1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)	3 (1.00)						
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
マイコプラズマ肺炎	5 (0.83)		3 (1.50)	1 (1.00)	1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	E型肝炎1件(奈良市1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市1)

❖ 第 52 週のトピックス ❖

注目すべき感染症「梅毒」(IDWR 2016年第48号)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/741-disease-based/ha/syphilis/idsc/idwr-topic/6955-idwrc-201648.html>

茨城県と川崎市における2016/17シーズンに検出されたヒトノロウイルス GII.P16-GII.2の分子疫学 (IASR速報記事)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/norovirus-m/norovirus-iasrs/6988-443p07.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			5	3	4	8	7	3	6	3	4	12	11	8	12	5	8	7	2	2	110	8375	
	女		2	8	6	3	5	3	1	5	5	4	22	6	5	6	5	8	8	1	3	106	8167	
RSウイルス感染症	男	1	5	5	6																	17	721	
	女	4	3	5	6	1	3															22	604	
咽頭結膜熱	男			4	5	3		2		1												15	415	
	女			1	3			2		1												8	361	
A群溶連菌咽頭炎	男			3		2	3	4	2	4	1		1									14	1539	
	女				1	2	3	4	2	2	3	3	3									23	1294	
感染性胃腸炎	男		2	7	8	7	12	11	9	11	2	3	7	2	13							94	6053	
	女	2	3	13	11	9	10	8	9	3	4	7	7	4	23							113	5600	
水痘	男			1				1		1			2									4	299	
	女			2						1		1	2									7	257	
手足口病	男		2	2	1				2						1							8	221	
	女			4	2																	6	189	
伝染性紅斑	男						1					1		1								1	400	
	女																					2	452	
突発性発しん	男		3	1	1																	5	459	
	女			5																		5	446	
百日咳	男																						7	
	女																						7	
ヘルパンギーナ	男	1	2																			3	580	
	女																						2	512
流行性耳下腺炎	男			2	1	1	3	2	2	3	3	1	1		1							20	1376	
	女				1	2	2	2	3	2	2	1	1									15	1208	
急性出血性結膜炎	男																						1	
	女																						3	
流行性角結膜炎	男																							149
	女												1							1	1	3	190	
細菌性髄膜炎	男																						11	
	女																						6	
無菌性髄膜炎	男																						9	
	女			1																		1	5	
マイコプラズマ肺炎	男			1		1																2	156	
	女			1	1									1								3	166	
クラミジア肺炎	男																						1	
	女																						54	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1	
	女																						45	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

